

「比治山学園教育研究開発センター」は、比治山学園設置校（比治山大学・比治山大学短期大学部(以下、「大学・短期大学部」)、比治山女子中学・高等学校(以下、「中学・高校」)、比治山大学短期大学部附属幼稚園(以下、「附属幼稚園」)の「教育の質保証」と中長期的な計画を踏まえた「大学全体の質保証」の向上に向けた恒常的な改善・改革を支援する組織として、様々な取り組みを行っています。

大学・短期大学部では、教育の充実を図るための授業の内容や方法の改善、また、教育研究活動を適切に行うための教職員の資質向上を目的に、教員・職員の合同での研修会を毎年実施しています。令和6年度第2回研修会で実施した情報セキュリティ研修については、プログラムのコンテンツを中学・高校、附属幼稚園に提供し、学園全体の意識向上に取り組みました。

今号では、大学・短期大学部において年2回実施している教職員合同研修会で扱った内容について、その一部をまとめました。

休退学についての分析と評価・IR部門の取組

<新入生アンケートに見られる休退学の兆候>

これまで休退学を予防するための分析として、休退学が起りやすい時期や学生の属性について分析を行ってきたが、その結果、より早い段階で学生の兆候を捉える必要があった。そこで、今年度は大学生を対象に、4年後の卒業時までには休退学をしている学生とそうでない学生の群に分けて、新入生アンケートの結果について「取り組みたいこと」「不安」「比治山力」について群間に差があるかを検証した。その結果、「取り組みたいこと」の9項目のうち6項目で統計的に有意な差が認められ、休退学をする学生の群ではそうでない学生の群と比べて取り組みたいことの値が低いことが明らかとなった。また、「不安」については、7項目あるうち「健康」に関する不安のみ統計的に有意な差が認められ、休退学をする学生の群では健康に関する不安が高いことが明らかとなった。最後に、「4×3の比治山力」については、情報収集力と課題設定力においてのみ差が認められ、休退学をする学生の群ではこれらの自己評価が低いことが明らかとなった。これらの結果から、初年次で全学生が履修する初年次セミナーのような授業の重要性等が考察され、学内FDや教育ネットワーク中国で発表された。

| X | X | X | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--------------|--------------|--------------|----|------|-------------|------|------|--------|-------|------------|------|------|------|------|------------|------|------|--------|-------|------------|------|------|--------|-------|------------|------|------|------|------|------------|------|------|------|-----|--------|------|------|------|-----|---------------|------|------|------|------|------------|------|------|------|-----|---------------|------|------|------|------|---|
| 分析対象者およびデータ | 具体的な質問項目 | まとめ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対象者：2021年度、2022年度新入生 データ：新入生アンケート(大学のみ) 時期：2021年、2022年4月～5月 N=533 調査内容： ・取り組みたいこと [9項目] 5件法 ・不安に思っていること [7項目] 5件法 ・4×3の比治山力 [12項目] 5件法 | 次の項目それぞれについてあなたが大学生活で取り組みたいこととしてあてはまるものをお選びください。(「1あてはまる」～「5あてはまらない」の5件法←逆転) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>在籍者 N=521</th> <th>休退学者 N=23</th> <th>t値</th> <th>効果量d</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取り組みたいこと平均値</td> <td>3.89</td> <td>3.63</td> <td>2.65**</td> <td>.51**</td> </tr> <tr> <td>1 教養を身につける</td> <td>4.45</td> <td>4.13</td> <td>1.91</td> <td>.32*</td> </tr> <tr> <td>2 専門的知識を学ぶ</td> <td>4.65</td> <td>4.30</td> <td>2.66**</td> <td>.50**</td> </tr> <tr> <td>3 免許や資格を取る</td> <td>4.55</td> <td>4.00</td> <td>3.37**</td> <td>.59**</td> </tr> <tr> <td>4 学生生活を楽しむ</td> <td>4.58</td> <td>4.39</td> <td>1.26</td> <td>.26*</td> </tr> <tr> <td>5 アルバイトをする</td> <td>4.28</td> <td>4.17</td> <td>0.58</td> <td>.12</td> </tr> <tr> <td>6 留学する</td> <td>2.52</td> <td>2.30</td> <td>0.77</td> <td>.17</td> </tr> <tr> <td>7 クラブや課外活動をする</td> <td>3.39</td> <td>2.91</td> <td>1.83</td> <td>.34*</td> </tr> <tr> <td>8 大学院に進学する</td> <td>2.23</td> <td>2.39</td> <td>0.64</td> <td>.13</td> </tr> <tr> <td>9 就職に向けた準備をする</td> <td>4.33</td> <td>4.09</td> <td>1.37</td> <td>.27*</td> </tr> </tbody> </table> **p<.01, *p<.05 ※逆転のため、数値が高いことが肯定的な意味をあらわす | | 在籍者 N=521 | 休退学者 N=23 | t値 | 効果量d | 取り組みたいこと平均値 | 3.89 | 3.63 | 2.65** | .51** | 1 教養を身につける | 4.45 | 4.13 | 1.91 | .32* | 2 専門的知識を学ぶ | 4.65 | 4.30 | 2.66** | .50** | 3 免許や資格を取る | 4.55 | 4.00 | 3.37** | .59** | 4 学生生活を楽しむ | 4.58 | 4.39 | 1.26 | .26* | 5 アルバイトをする | 4.28 | 4.17 | 0.58 | .12 | 6 留学する | 2.52 | 2.30 | 0.77 | .17 | 7 クラブや課外活動をする | 3.39 | 2.91 | 1.83 | .34* | 8 大学院に進学する | 2.23 | 2.39 | 0.64 | .13 | 9 就職に向けた準備をする | 4.33 | 4.09 | 1.37 | .27* | 入学時に「取り組みたいこと」が少なく「健康の不安」があり、「情報収集力」（や「課題設定力」）に自信がない学生は要注意？ ・対策案 「意欲」→ サークル<授業(初年次)、ピア 「健康面等具体的な不安」 → 家庭・ウェルネスセンターと連携 「スタディスキル」→ 学科、重点クラス(初年次) |
| | 在籍者 N=521 | 休退学者 N=23 | t値 | 効果量d | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取り組みたいこと平均値 | 3.89 | 3.63 | 2.65** | .51** | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 教養を身につける | 4.45 | 4.13 | 1.91 | .32* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 専門的知識を学ぶ | 4.65 | 4.30 | 2.66** | .50** | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 免許や資格を取る | 4.55 | 4.00 | 3.37** | .59** | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 学生生活を楽しむ | 4.58 | 4.39 | 1.26 | .26* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 アルバイトをする | 4.28 | 4.17 | 0.58 | .12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 留学する | 2.52 | 2.30 | 0.77 | .17 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 クラブや課外活動をする | 3.39 | 2.91 | 1.83 | .34* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 大学院に進学する | 2.23 | 2.39 | 0.64 | .13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 就職に向けた準備をする | 4.33 | 4.09 | 1.37 | .27* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| X | X | X | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

新入生アンケートの分析結果発表資料例

<入試区分に見られる学生の特徴の差>

・「推薦型選抜」「総合型選抜」「一般選抜・共通テスト利用選抜」の3つの入試形態により群に分けて、修得単位数やGPA、さらに本学の汎用的能力である4×3の比治山力(卒業時から入学時の数値を引いた成長度と卒業時時点の値)について、差を検証した。その結果、修得単位数やGPAは推薦型選抜群の学生の値が他の群の学生よりも有意に高い値を示していた一方で、比治山力については顕著な差が見られなかった。教員や企業の有識者の印象としては、入試形態によって学生の強みも違ったため、今回得られた結果との違いについて、今後も丁寧な分析をすることで、より適切に学生理解を進めていく必要があると考えられた。

<AISESと共同でIRアンケートの可視化システム開発>

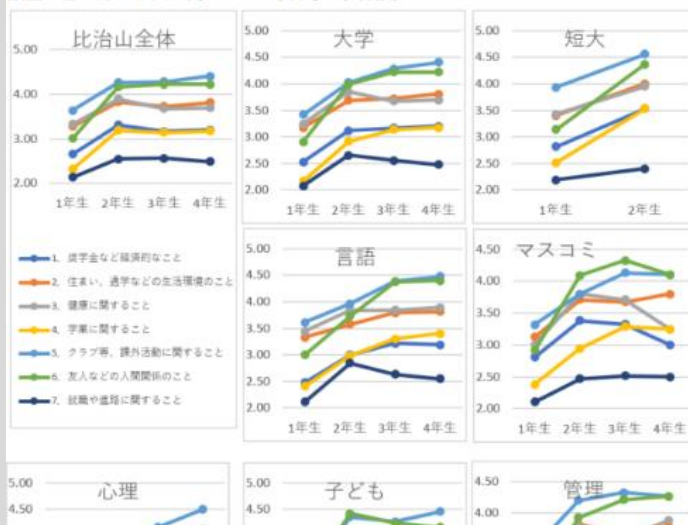
・本学のIRとして毎年継続的に実施している調査として、「新入生アンケート」「在学生実態調査アンケート」「卒業予定者アンケート」「卒業生アンケート」「就職先企業アンケート」などがある。これらについて、最も欲しい集計・分析結果を簡易かつ迅速に取得できるように、(公社)学校教育開発研究所(AISES)と共同で可視化するシステムを開発した。今後のIRに関する調査の集計・分析の効率化および、それ以外の調査や分析の時間確保に貢献することが期待される。

<その他>

・新入生アンケート、在学生実態調査アンケート、卒業予定者アンケート等の項目の精選統合を行った。今後、回収率が向上し信頼性が高い結果を示していけることが期待される。

<不安について>

新入生・在学生アンケートで4~5月に回答された結果が反映されている。
数値が低い方が不安が高いことを表す。(5件法)



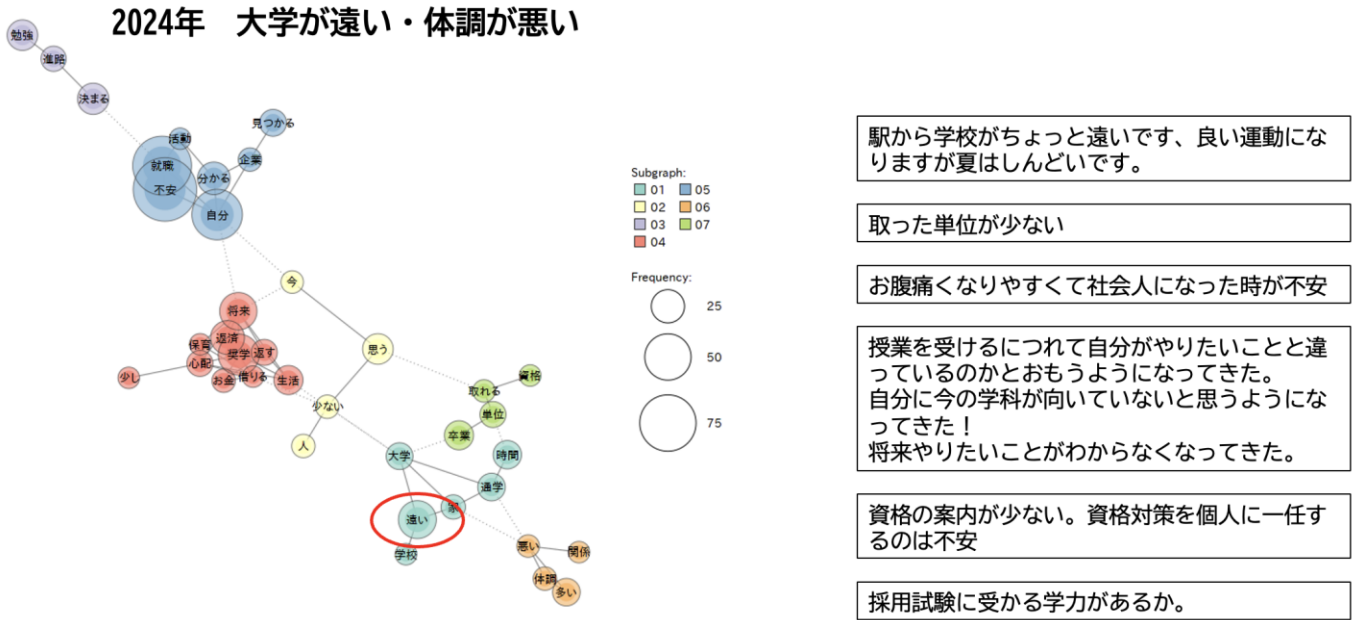
可視化システム画面出力例

在学生実態調査アンケート 比治山力考察

大学・短期大学部で実施している在学生対象のアンケートから学習成果や学生生活に対する課題解析を行っている。今年度は「在学生実態調査アンケートの自由回答記述考察（以下「在学生アンケート」と省略）」と「比治山力考察」を行った。在学生実態調査アンケートでは、奨学金や就職進路などへの不安に関する自由回答についてテキストマイニングを行った。比治山力考察では、2023年度に卒業した大学・短期大学部生を対象に、入学時と卒業時の比治山力に対する自己評価の変化について解析を行なった。

<在学生実態調査アンケート>

考察からコロナ禍における学生生活における「就職進路」・「学業」・「経済面」に関する記述が確認された。なかでも2020年のアンケートでは自由記述の割合が他の年度よりも多く、就職に対する不安・学業に対する不安が見られた。2021年は記述割合が減少するものの、健康に対する不安の記述は減少しなかった。2022年はオンライン授業から対面形式の授業に戻るなど学業環境の変化に対する不安の記述が見られた。2023年は自由回答の記述件数が減少したものの、就職に対する不安は依然として確認された。直近の2024年では健康・学業・就活に対する不安の記述が増加した。5年間の自由回答記述を解析した結果、2020年から2022年はコロナ禍に関する記述が見られた。普遍的に記述された内容としては「就職できるか不安」、「学力や資格取得に対する不安」、「今後を含めた経済面の不安」が確認された。直近に現れた経済状況と健康不安については注視する必要があると考えている。



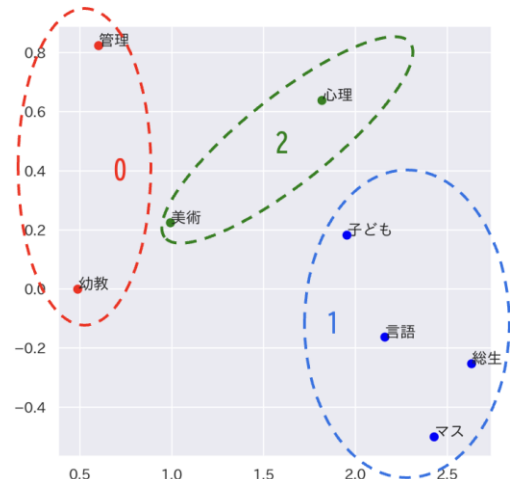
<比治山力考察>

2020年度に学部入学・2022年度に短期大学部に入学し、2023年度に卒業した学生のうち、入学生対象のアンケートと、卒業時のアンケート両方に回答した253人の学生データから比治山力の自己評価について考察を行なった。入学時点において自己評価値が高い力として「傾聴・受信用力」が確認された。在学期間において「プレゼンテーション力」の自己評価値が高まったことが確認された。一方、それほど伸びなかった力として「コミュニケーション力」と「情報収集力」が確認された。学科別傾向を考察するためクラスター分析を行なったところ、在学期間においては、総合生活デザイン学科・マスコミュニケーション学科・言語文化学科・子ども発達教育学科のグループ、社会臨床心理学科と美術科のグループ、管理栄養学科と幼児教育科のグループにまとめられる結果となった。

在学区間のクラスター分析

在学区間の評価値より算出

- 0：企画・計画力，コミュニケーション力，チームワーク力，自己省察力の評価値が低い
- 1：9の力で評価値が上昇している
- 2：論理的思考力の評価値が低く、プレゼンテーション力の評価値は高い



令和6年度 学生モニター意見交換会の実施

学生モニター意見交換会は、大学・短期大学部の教育改善および教育活動への学生の参画を目的として令和6年10月16日（水）および10月22日（火）に実施しました。各学科・コースから学年ごとに1名、計30名の学生がモニターとしていずれかの日程に参加しました。意見交換はワールドカフェ形式で行われました。ワールド・カフェとは、その名のとおり『カフェ』のようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルとメンバーをシャッフルして対話を続けることにより、参加した全員の意見や知識を集めることができる対話手法の一つです。今年度は次の3つのテーマを設定し、それぞれのテーブルで意見交換を行いました。

1. 大学生活の中でどのようなサポートがあったらいいですか？比治山大学に足りていないサポートはありますか？
2. 受講した授業の中で自ら探究したり、学ぶことが面白いと思った授業はありますか？具体的に教えてください。
3. 生成AIの使用例や、学生生活で役立つICT技能、もっと教えてほしいICT技能はどういったものですか？

いずれのテーブルでも、活発な意見交換が行われました。学生モニターから出てきた意見や要望について可能な限り応えられるように、関係部署に振り分けて対応を検討していただきました。例えば、「ボランティアなどに関する情報が集めにくい」という意見に対し、これまで掲示板やHi!wayシステム（学生情報システム、Hi!wayは本学での愛称）などで案内されていたものをHi!wayシステムに集約し、現在募集されているボランティアの情報を一覧で確認できるように改修していただきました。また、留学を希望する学生に対してのサポートの充実（留学経験者との繋がりなど）を検討していただくことになっております。その他の意見や要望についてもそれぞれ担当部署で検討したり、対応いただく予定です。これらの意見であったり、対応状況であったりをどのように広く学生にフィードバックしていくかを検討することが今後の課題です。

学生からの意見や要望の中には、もちろん現実的ではないようなものもありますが、今後も学生の声を大切にして、大学・短期大学部の改善を進めていきたいと思っております。

教育研究開発センター評価・IR部門 田崎 慎治

ICT集中ミニ研修会

大学・短期大学部では令和5年度入学生から全学生パソコン必携化を開始し、授業におけるPCの活用を促進しています。情報メディアセンターと教育研究開発センターの連携によりFD研修の一環として令和5年度から継続してICT集中ミニ研修会を実施しています。授業改善に向けたICT活用事例やツールの利用方法を紹介するだけでなく、今年度は、生成AIワークショップを3回シリーズで行いました。研修会では、生成AIの活用方法、生成AIを活用した授業実践例を紹介しました。メールの返信や小テスト作成、ブレインストーミング（アイデア出し）についてそれぞれの生成AIで試した結果を示しながら、参加者との意見交換を行いました。

実施期間：令和6年5月17日（金）～12月11日（水）
各回：16：30～17：00
会場：3号館2階 ラーニングルーム（RED）
主催：教育研究開発センター

| | 実施日 | 内容 | 参加者数 |
|------|-----------|--|------|
| 第14回 | 5月17日（金） | 授業出欠入力簡単プログラム プログラム（Excel）に出席者のデータを貼り付けてHi!wayへ一括登録 | 4名 |
| 第15回 | 6月25日（火） | 実践交流会 授業実践について事例や感想 | 4名 |
| | 7月2日（火） | 実践交流会 授業実践について事例や感想、授業でのAI活用 | 延期 |
| 第16回 | 8月26日（月） | ICT授業実践交流会 実践事例紹介、振り返り、授業でのAI活用、情報提供 | 11名 |
| 第17回 | 8月27日（火） | Googleフォーム 設定ミスによる情報漏洩を防ぐために | 9名 |
| 第18回 | 8月28日（水） | 生成AIの教育研究活動 教育・研究における活用事例紹介 | 12名 |
| 第19回 | 11月13日（水） | 生成AIワークショップ Chat GPT 生成AI利用に関する注意喚起 ChatGPTの概要 生成AIを活用した授業事例紹介 | 14名 |
| 第20回 | 11月27日（水） | 生成AIワークショップ Gemini Geminiの概要 メールの作成 小テストの作成 アイデア出しのChatGPTとの比較 | 13名 |
| 第21回 | 12月11日（水） | 生成AIワークショップ Copilot Copilotの概要 メールの作成 小テストの作成 アイデア出しについてChatGPT Geminiとの比較 その他の生成AI（Claude NotebookLMなど）の紹介 | 5名 |

参加者からは「AIを理解するにはしっかり使い込んで慣れる必要があると感じた」、「業務で使用するにあたりスピード感も欲しいので特性を理解して、用途によって使い分けが必要と感じた」、「学生へのフィードバックのやり方はとてもためになりました」などの感想をいただきました。来年度も引き続き、ICTを活用した授業改善に取り組みます。

情報セキュリティ研修

本学園では、大学・短期大学部、中学・高校、附属幼稚園等学園全体を対象とした「学校法人比治山学園情報セキュリティ基本方針」を新たに制定し、令和6年4月1日から施行しています。この方針に基づいて、それぞれの部局で情報セキュリティについての意識を高め、情報セキュリティ対策に関する責任と自覚を持つよう、必要な研修を行っていくこととしています。令和6年度第2回大学・短期大学部の教職員合同研修会では、最新のインシデント事例をもとに情報セキュリティの脅威と対策、使用することの多いGoogleフォーム設定やメール送受信の注意点などについて研修しました。この研修のコンテンツは、中学・高校、附属幼稚園にも提供し、学園の全構成員が情報セキュリティについての意識を高め、情報セキュリティ対策に関する責任と自覚を持つよう、今後も適時のニーズ等を踏まえ、継続して情報セキュリティに関する研修を行ってまいります。

情報メディアセンター



情報セキュリティ対策研修

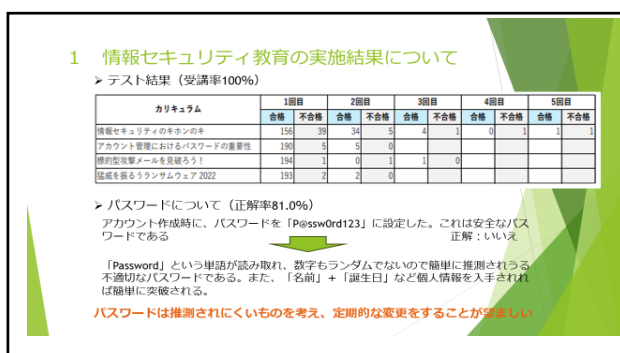
- 1 情報セキュリティ教育の実施結果について
- 2 情報セキュリティ インシデント事例

情報メディアセンター長 鹿江 宏明

この度は、会議が開催できず、遅延にてお断りいたします。

- 3 最新事例に学ぶ情報セキュリティの脅威

外部講師 (情報セキュリティに係る専門事業者)



1 情報セキュリティ教育の実施結果について

▶ テスト結果 (受講率100%)

| カリキュラム | 1回目 | | 2回目 | | 3回目 | | 4回目 | | 5回目 | |
|----------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 合格 | 不合格 | 合格 | 不合格 | 合格 | 不合格 | 合格 | 不合格 | 合格 | 不合格 |
| 情報セキュリティのキソのキ | 156 | 39 | 34 | 5 | 4 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| アカウント管理におけるパスワードの重要性 | 150 | 5 | 5 | 0 | | | | | | |
| 標的攻撃型メールを見破ろう! | 154 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | | | | |
| 迷惑を振るうランサムウェア 2022 | 151 | 2 | 2 | 0 | | | | | | |

▶ パスワードについて (正解率81.0%)

アカウント作成時に、パスワードを「Passw0rd123」に設定した。これは安全なパスワードである

↓

「Password」という単語が読み取れ、数字もランダムでないので簡単に推測されうる不適切なパスワードである。また、「名前」+「誕生日」など個人情報を入力されれば簡単に突破される。

パスワードは推測されにくいものを考え、定期的な変更をすることが望ましい

当センターの略語 CHIE (Center for the study of Hijiya Institutional Research and Educational Development)は日本語の“知恵”とかけて、シンクタンクとしての機能を表現した。

比治山学園 教育研究開発センター

CHIE Center for the Study of Hijiya Institutional Research and Educational Development

〒732-8509 広島市東区牛田新町4丁目1-1 TEL : 082-229-0122(代) FAX : 082-229-5100
E-mail:koutouk@hijiya-u.ac.jp